

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和4年6月3日

評価対象事業		評価者	青少年課長	小林 瑞幸
こども-27	青少年会館管理運営事業	■ 自治事務	主管課	青少年課
		□ 法定受託事務	関連課	—
総合計画上の位置付け	分野	青少年育成	施策の方針	青少年の育成・支援

1 事業の目的

対象	青少年
意図	交流と活動の場を提供することにより、青少年の自立を促すため。
効果	青少年の健全育成に寄与する。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

青少年会館の会議室等貸出、会館の維持管理及び講座を実施した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度	
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)		
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)		
01	講座等の実施	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、講座を実施した。	青少年が参加しやすい講座の開設(回)	10 / 24	24	24	42.0%	
				80 / 192	192	192		
02	青少年会館管理事務	新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら会議室等の貸出を行った。	青少年会館利用者に占める青少年団体数	45.2 / 50	50	50	90.4%	
				14,855 / 16,491	16,491	17,292		
03	青少年会館維持修繕事務	空調機整備修繕(鎌倉)、非常照明用非常電源取替修繕(玉縄)を行った。	修繕箇所(件)	— / —	—	—	—	
				8,452 / 8,792	8,792	6,630		
04				/				
05				/				
06				/				
07				/				
08				/				
09				/				
10				/				
		財源内訳	国県支出金	112 / 0	0			
			地方債	/				
			その他特定財源	1,010 / 1,570	1,570	1,939		
			一般財源	22,265 / 23,905	23,905	22,175		
			事業費の合計(千円)	23,387 / 25,475	25,475	24,114		
			人件費(千円)		26,768	29,672		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.5	2.5	2.0			
会計年度任用職員	3.0	6.0	11.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	講座等の実施	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、講座等の実施が制限された。	青少年への社会教育(啓発、体験活動を通じた育成)に寄与した。	青少年が求めているものを調査し、参加しやすい講座となるよう工夫が必要である。
02	青少年会館管理事務	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことにより、一般団体の利用が減り、青少年会館利用者総数に占める青少年団体の割合が上がった。	青少年に、仲間や地域との交流を目的とした会議室等の提供を行うことで青少年に関わる団体の活動の活性化を図る。	会議室等申込みについて、電子システムを導入した。利便性の向上とともに、青少年による会館活用が向上していくような工夫が必要である。
03	青少年会館維持修繕事務	老朽化に伴い、修繕箇所が増えている。	施設の利用に支障が生じないように修繕することで、会館としての機能を維持する。	老朽化に伴い修繕箇所が増えており、修繕金額総額が上がっている。
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか ○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 市民講師

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>青少年に交流と活動の場を提供し、青少年の健全な育成を図るとい青少年会館の意義が効果的に発揮できるよう、施設の在り方、講座開催方法について検討し、改善を図る。 玉縄青少年会館については、施設の老朽化が進んでいることから、公共施設再編計画に基づき、閉館を含めた施設の在り方を、玉縄地域全体の課題として関係部署と連携しながら検討を重ねていく。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	青少年会館講座数						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
青少年を対象とした講座を開催することで、青少年の活動と交流の場を提供できるため。	目標値	176	24	24	24	24	24	
	実績値	0	10					
	達成率	0%	42%					

指標(単位)	青少年会館利用者数に占める青少年団体数						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
青少年に関わる団体へ場所を提供することで青少年の活動を支援するため。	目標値	50	50	50	50	50	50	
	実績値	27.8	45.2					
	達成率	56%	90.4%					

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	青少年会館設置数						
団体名	鎌倉市	横須賀市	三浦市	逗子市	葉山町	藤沢市	
他市実績	2	1	0	0	1	2	
	—	—	H28廃館	H28廃館	—	—	

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	他自治体の青少年会館についても、県から移管された施設が多く、老朽化が進んでいる。
--------------------------	--